

農林水産商工常任委員会提出資料

(平成31年1月21日)

項 目	ページ
1 平成30年度多面的機能支払中国四国シンポジウム in 星取県 ～ 地域で輝く星になろう！～ の開催について 【農地・水保全課】	1
2 国内における豚コレラの発生状況について 【畜産課】	2
3 ズワイガニ漁獲可能量の追加配分について 【水産課】	3
4 「大山ブロッコリー」、「こおげ花御所柿」の地理的表示（GI） 保護制度登録について 【販路拡大・輸出促進課】	4
5 亥年にちなんだ「とっとりジビエ」のPR等について 【食のみやこ推進課】	5

農 林 水 産 部



平成30年度多面的機能支払中国四国シンポジウム in 鳥取県
～ 地域で輝く星になろう！ ～ の開催について

平成31年1月21日
農地・水保全課

鳥取県では、地域の共同活動で農地や水路等の保全活動等を行う場合に、その地域活動を支援しています。

このたび、農業・農村の有する多面的機能を将来にわたり維持・発揮することの大切さを再認識し、この地域活動を更に拡げていただくために、下記のとおりシンポジウムを開催します。

記

- 1 日 時 1月31日(木) 午後2時から午後4時40分まで
- 2 場 所 米子コンベンションセンターBIG SHIP 多目的ホール(米子市末広町294)
- 3 主 催 鳥取県、鳥取県農地・水・環境保全協議会
- 4 共 催 農林水産省中国四国農政局
- 5 来場者数 約800名(中国・四国地方の活動組織など)
- 6 日 程

(1) 基調講演

「^{あきつ}秋津地域の決断！多面的が支えた地域の絆」

熊本市^{あきつ}秋津地域農地・水・環境保全管理協定 事務局 竹中 宏 登壇

(2) 活動組織事例発表

ア 中国四国農政局長表彰活動組織 最優秀賞受賞組織

山口県^{たぶせちょう}田布施町「^{たぶせちょう}田布施町地域広域協定」

イ 中国四国農政局長表彰活動組織 優秀賞受賞組織

鳥取県^{みどり}琴浦町「^{みどり}東伯水土里保全会」

(参考)

- 昨年度開催の様子(高知県)



- 鳥取県における多面的機能支払交付金の取組状況(平成31年1月1日現在)

- ・ 県内全市町村 713組織
- ・ 取組面積 16,049ha
- ・ カバー率 51%(農振農用地面積に対する取組面積の割合)

とん
国内における豚コレラの発生状況について

平成31年1月21日
畜 産 課

平成30年9月9日に岐阜市の養豚農場において豚コレラが発生し、平成30年12月25日までに岐阜県内6カ所の養豚農場等（飼育イノシシを含む）で豚コレラが発生した。これらの発生を受け、県内全養豚農場28戸に対して巡回指導を行ったところ、異常は認められなかった。また岐阜県及び愛知県内では、野生イノシシに豚コレラ感染が確認されているが、これまで県内野生イノシシには豚コレラを疑う異常は確認されていない。

1 豚コレラの発生状況

(1) 養豚農場等における豚コレラ発生状況（発生は岐阜県のみ）

	発生日	発生養豚農場等	飼養頭数	防疫措置終了
1例目	平成30年 9月 9日	養豚農場	610頭	平成30年 9月11日
2例目	平成30年11月16日	岐阜市畜産センター	23頭	平成30年11月16日
3例目	平成30年12月 5日	岐阜県畜産研究所	491頭	平成30年12月 7日
4例目	平成30年12月10日	イノシシ飼育施設	22頭	平成30年12月11日
5例目	平成30年12月15日	岐阜県農業大学校	10頭	平成30年12月16日
6例目	平成30年12月25日	養豚農場	7,547頭	平成30年12月28日

(2) 野生イノシシにおける豚コレラ確認状況（確認は岐阜県及び愛知県のみ）

- ・岐阜県では606頭検査を実施し、うち87頭陽性（平成31年1月3日現在）。
- ・愛知県では33頭検査を実施し、うち4頭陽性（平成30年12月29日現在）。

2 本県の対応状況

これまで県関係機関を招集した豚コレラ対応庁内連絡会議を4回開催し、豚コレラへの対応を確認、関係機関等に情報提供を行った。

(1) 養豚関係

- ・県内全養豚農場（28戸（飼育イノシシ農場含む））に対し、巡回指導、情報提供及び注意喚起を行い、全養豚農場で異常がないことを確認した。
- ・県内養豚農場は、岐阜県内の養豚農場等との関連性がないことを確認した。
- ・全養豚農場へ消毒薬を配布し、消毒を強化している。
- ・農協、飼料会社等県内関係機関には畜産課から情報提供と注意喚起を実施した。

(2) 野生イノシシ関係

- ・県猟友会及び市町村の協力を得て、平成30年12月21日までに野生イノシシ84頭について検査を実施し、全頭陰性を確認している。
- ・県猟友会及び野生イノシシを扱うジビエ処理施設には畜産課から情報提供を実施した。

3 今後の予定

- ・県内全養豚農場への豚コレラ対策を含めた衛生指導を継続する。
- ・県外から導入される豚に対する健康状態の確認を強化する。
- ・野生イノシシの検査体制を維持していく。

<県民の皆様への注意事項>

豚コレラは豚及びイノシシのみが感染するウイルス性の疾病で、人が感染することはありません。
豚コレラウイルスに感染した豚肉が市場に流通することはありません。

ズワイガニ漁獲可能量の追加配分について

平成 31 年 1 月 21 日
水 産 課

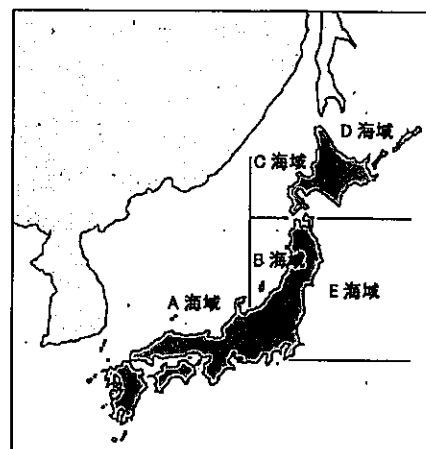
今漁期 (H30. 11. 6～H31. 3. 20) のズワイガニ漁は、海況に恵まれ好漁が続ぎ、昨年末時点の漁獲量は 820 トンとなり、本県の TAC (漁獲可能量) 870 トンの 94% を消化している状況であり、1 月以降のズワイガニ漁の継続が危惧されていました。

このような状況を踏まえ、1 月 17 日に開催された富山県～島根県までの漁業者団体による「A 海域ズワイガニ TAC 協定委員会」において、A 海域として留保していた TAC 枠から本県へ追加配分することを決定しましたので、その状況等を報告します。

(ズワイガニの TAC について)

ズワイガニの TAC は国が資源状況等を勘案し A～E 海域の 5 海域ごとに決定し、鳥取県は富山県～島根県が含まれる A 海域に含まれる。

A 海域の TAC は、漁業者団体による協議のうえ各県に配分され、今漁期の本県への当初配分は 870 トンとなっている。



1 本県へのズワイガニ TAC の追加配分の概要等

- ・この度の追加配分により、本県へは 55 トンが配分され、今漁期の本県の TAC は 925 トン (当初分: 870 トン + 追加分: 55 トン) となる。
- ・追加配分を受け、ズワイガニ漁を行っている漁業者団体 (鳥取県沖合底曳網漁業協会) では、1 月以降のズワイガニ漁について次のとおり決定した。
- ・この決定により、1 月以降、84 トン (168,000 枚程度) が漁獲可能となる。なお、親がにの漁期は昨年末で終了しているため、今後漁獲できるのは松葉がに (若松葉がにを含む) のみとなる。

(決定事項)

- 県内の沖合底曳網漁船 24 隻に対し、1 隻あたり 3.5 トン (7,000 枚程度) を配分し、ズワイガニ漁を継続する。
- なお、漁獲するカニについては次の制限を加える。
 - ・甲幅が 10.5 cm 未満のもの及び小指を除き指・ハサミが 3 本以上ないものは漁獲しない。
 - ・若松葉がにの漁獲可能量を半減する。

【参考】

例年の 1 月～3 月のズワイガニの漁獲量 (H27～29 年漁期の平均)

- ・180 トン (松葉がに: 60 トン、若松葉がに: 120 トン)

2 県としての対応状況

1 月以降のズワイガニ漁が危惧されていることから、観光関係者等からの相談の受け付けや漁獲状況の情報提供等を実施中である。

- ・ズワイガニ漁に対する問い合わせ等に対応するため、水産課内に相談窓口を設置し、漁業者団体等との調整を実施している。(1 月 4 日～)
- ・旅館・ホテル関係者等に 1 月以降のズワイガニ漁の見通し等を説明した。(1 月 9 日、16 日)
- ・日々の漁獲実績等の情報を観光連盟、旅館・ホテル及び仲買に提供している。(1 月 10 日～)
- ・来漁期に向けては、漁期前に漁業者団体、仲買、観光団体等による情報共有の場を設け、漁の見通しや操業方針等について情報共有を図る。

「大山ブロッコリー」、「こおげ花御所柿」の地理的表示（GI）保護制度登録について

平成31年1月21日

販路拡大・輸出促進課

「大山ブロッコリー」、「こおげ花御所柿」が特定農林水産物等の名称の保護に関する法律（地理的表示法）に基づき、次のとおり地理的表示（GI）保護制度に登録されました。

1 GI登録産品

(1) 大山ブロッコリー（登録番号第70号）

登録日：平成30年12月27日（申請日：平成28年10月17日）

(2) こおげ花御所柿（登録番号第72号）

登録日：平成30年12月27日（申請日：平成29年5月29日）

2 GI登録を契機としたPR（予定）

(1) 「大山ブロッコリー」、「こおげ花御所柿」のGI登録記念イベント（1/20（日）わったいな（鳥取市賀露））

〔県、JA鳥取西部、JA鳥取いなば〕

大山ブロッコリー・花御所柿加工品等の試食宣伝・販売等

(2) 大山ブロッコリー〔JA鳥取西部〕

- ・首都圏アンテナショップでの試食宣伝（とっとり・おかやま地域ブランドフェア（1/13（日）、14（月・祝））
- ・鳥取県生協イベント（産直交流会）での試食宣伝（3/2（土））
- ・首都圏高級スーパー等でのプロモーション（調整中）、京都生協イベントでの試食宣伝（3/30（土））
- ・各種PR資材作成（販促用ポスター、チラシ、パネル作成、出荷箱のデザイン変更（GIマーク貼付）、集荷場への看板設置、新聞広告掲載等）

(3) こおげ花御所柿〔JA鳥取いなば〕

- ・各種PR資材作成（販促用ポスター、チラシ、ノボリ、パネル作成、出荷箱のデザイン変更（GIマーク貼付）、集荷場への看板設置）
- ・次年度初出荷に合わせたプロモーション（初出荷式でのメディアPR、首都圏高級フルーツ店でのPR）

3 県の支援

上記取組の支援、JAと連携した首都圏等での試食宣伝活動

【参考】

○地理的表示（GI Geographical Indication）保護制度

地域で育まれた伝統と特性を有する農林水産物・食品のうち、品質等の特性が産地と結び付いており、その結び付きを特定できるような名称（地理的表示）が付されているものについて、その地理的表示を知的財産として保護し、生産業者の利益の増進と需要者の信頼の保護を図るための制度である。

○GI登録産品の概要

・大山ブロッコリー

大山の清らかな水と肥沃な黒ボク大地で徹底した管理のもと栽培され、エグミの少ない食味の良さが特徴。
生産の大半を占める大山町における作付面積は、市町村別で全国第3位、西日本第1位。

生産者数：229戸（H30年 以下同じ） 栽培面積：482.1ha 出荷量：457,542C/S

販売金額：1,045,398千円 ※H24年から10億円を突破。

・こおげ花御所柿

200年以上前から地域に守られ選抜され、口の中で広がる糖度が自慢。

約5割にあたる50トンが歳暮用進物で、出荷先は地元町内の直売所を始め、地元・関東の市場等へも出荷。

生産者数：98戸（H30年） 栽培面積：13.8ha（H30年） 出荷量：91トン（H29年）

販売金額：45,120千円（H29年）

○県内のGI登録状況

- ・登録済（1件）：鳥取砂丘／ふくべ砂丘らっきょう（青果）（平成28年3月10日登録）
- ・今回登録（2件）：大山ブロッコリー、こおげ花御所柿（平成30年12月27日登録）
- ・登録申請済（2件）：大栄西瓜、鳥取砂丘／ふくべ砂丘らっきょう（加工）

○全国のGI登録状況（平成30年12月27日現在）

平成27年度のGI保護制度の運用開始以降、73産品が登録。登録申請の受付件数は180産品を超えている。

亥年にちなんだ「とっとりジビエ」のPR等について

平成31年1月21日
食のみやこ推進課

2019年の亥年にあわせて、鳥取県産の猪肉をはじめとする「とっとりジビエ」の魅力を発信するため、「2019 亥年（いーとし）とっとりジビエ おいし猪（いの）」として、県産ジビエのPRを実施しますので、下記のとおり報告します。

記

1 「とっとりジビエおせち」のPR

鳥取県調理師連合会「惣和会」の協力のもと、鳥取県産猪肉を使った料理が入ったおせち料理が、県内3店舗で開発・販売され、「とっとりジビエおせち」として県のホームページで紹介しました。東京や大阪からの注文もあるなど好評で、県内外に鳥取県産猪肉の魅力を発信することができました。

※販売店舗：仕出し板前亭ちくま（鳥取市）、割烹きさら（米子市）、四季彩かしも（鳥取市）（既に販売は終了）



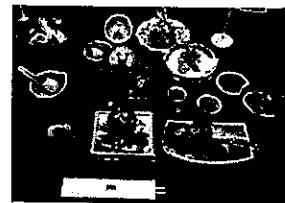
Tottori Gibier

2 日本猪牧场 HACCP 認定祝賀会、猪肉を使った新メニュー開発試食会

日本猪牧场（倉吉市）が、鳥取県内の猪の解体処理施設としては初めて、鳥取県 HACCP 適合施設の認定を受けました。

これを祝して1月8日（火）に「ブランナルみささ」（三朝町）で祝賀会（主催：日本猪牧场、ブランナルみささ）が開催され、県内外からの参加者（ジビエ関係者、加工業者、卸業者など約60名）が、「ブランナルみささ」が新たに開発した猪肉メニューを試食しました。

「ブランナルみささ」では、猪肉を使ったメニューが宿泊客向けの料理として定番化されることとなり、県外からの観光客等にもジビエ料理を味わっていただけるようになりました。



ブランナルみささの
新メニュー

3 東京アンテナショップでのPRイベント「とっとり・おかやまのジビエ」

1月13日（日）、14日（月・祝）に東京アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」で、岡山県と合同でジビエPRイベントを開催し、「ほうきイノシシのテリーヌ」「骨付き鹿スモーク」などのジビエ料理の試食PR、倉吉農業高校が新たに開発した猪レトルトカレーなどの加工品・精肉の販売を行いました。

また、亥年にちなんだノベルティ（猪の皮革を使ったお守り入れ、県内子ども園児による猪の絵柄のカレンダー）などが当たる抽選会も開催しました。



猪皮のお守り入れ

4 県内料理人によるジビエ料理の祭典「とっとりジビエフェス」の開催

ジビエ料理の県内での更なる普及を推進するため、一般消費者等を対象に、県内料理人によるジビエ料理を味わうことができる「とっとりジビエフェス」を開催し、この中で、「家庭でできるジビエ料理」をテーマに、人気ジビエ料理コンテストを実施します。

○日時 平成31年2月5日（火）18時から

○場所 ANA クラウンプラザホテル米子（米子市久米町）

○概要 ・県内飲食店によるジビエ料理の試食

・人気ジビエ料理コンテスト（来場者による投票で受賞料理を決定）

○参加費 3,000円（税込み）

○定員 先着200名（対象：一般消費者、小売店のバイヤー等）

5 「とっとりジビエレストランフェア」の開催

県内及び首都圏の飲食店において、鹿や猪を使った料理を提供するレストランフェアを開催し、「とっとりジビエ」の県内外での認知度向上とブランド化を図ります。

【県内】 ○期間：平成31年2月6日（水）から2月28日（木）まで

○参加店舗：和食、洋食、中華など県内飲食店約20店舗（予定）

※参加店舗で対象メニューを食事して応募された方の中から、抽選で30名にジビエ関連商品をプレゼントします。

【首都圏】 ○期間：平成31年2月上旬から2～3週間程度（予定）

○参加店舗：フレンチ、イタリアンなど都内レストラン 約10店舗（予定）

